

受講者名簿及び人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成・賃金助成））の助成金支給申請内訳書

記入例

① 受講者名簿											② 建設労働者技能実習コース（賃金助成）の助成金支給申請内訳				③-1 受講証明		
No.	35歳未満※1	受講者氏名	C C U S ※3	所属事業所名	雇用保険被保険者番号	雇用保険料率	下請名簿番号	資本金・出資総額	常用労働者数	建設業許可番号	受講日数	助成対象日数	申請額(左欄の日数×日額単価)	※算定額(記入しないでください。)	実施年月日(実施時刻)※2	学科時間	実技時間
1		建設 一郎		(株) ●●組	1111-222222-3	12 1,000					3日	3日	22,800円	円	令和3年5月10日 (8:30 ~ 17:00)	7	
2						1,000									令和3年5月11日 (8:30 ~ 15:00)	5	
3						1,000									令和3年5月12日 (8:30 ~ 17:00)		7
4		建設 二郎	○	(株) ●●組	2222-333333-4	12 1,000					3日	3日	25,080円		令和3年5月10日 (8:30 ~ 17:00)	7	
5						1,000									令和3年5月11日 (8:30 ~ 15:00)	5	
6						1,000									令和3年5月12日 (8:30 ~ 17:00)		7
7	○	建設 三郎		(株) ●●組	3333-444444-5	12 1,000					3日	2日	15,200円		令和3年5月10日 (8:30 ~ 17:00)	7	
8						1,000									令和3年5月11日 (8:30 ~ 15:00)	5	
9						1,000									令和3年5月12日 (13:00 ~ 15:00)		2
10						1,000									( : ~ : )		
合 計										9日	8日	63,080円	円		36	16	

所属する建設事業主団体が技能実習を実施した場合又は登録教習機関等に委託して技能実習を実施した場合は③-1及び③-2を訓練実施機関が記入し証明をしてください。その際、裏面の2の(5)の口の(ii)について、確認してください。

事業主自ら技能実習を実施した場合は事業主が③-1を記入してください。③-2の記入は必要ありません。

③-2 受講証明

山形 労働局長

上記の者は、当社（団体）が実施した技能実習の受講者であり、上記の受講日（時間）の数を受講したものであること及びカリキュラム全体の時間数の7割以上の時間を受講したことを証明します。また、裏面の2の(5)の口の(ii)について、同意します。

証明年月日 令和 3 年 5 月 2 7 日

実施機関名 ●●教育訓練センター

代表者氏名 代表 訓練 太郎

(連絡先電話番号 987-654-3210)

※備考

登録教習機関の「受講証明」を受けた上で山形労働局に提出のこと

(注1) この内訳書に記入するときは、裏面の注意事項を参照してください。

(注2) 「②建設労働者技能実習コース（賃金助成）の助成金支給申請内訳」は、建設労働者技能実習コース（賃金助成）の支給申請を行う場合に記入してください。

(注3) 「③-1受講証明」、「③-2受講証明」欄における学科時間、実技時間についてはそれぞれ受講した時間を記載してください。また、学科試験・実技試験の時間も含めてください。

学科試験・実技試験については、実施時刻、学科時間・実技時間に含まれます。

※1：（被保険者が21人以上の中小建設事業主のみ）訓練開始日において35歳未満である者に○を記入してください。なお、35歳未満の者とは訓練開始日が35歳の誕生日の前々日である者です。

※2：通信制の場合であっても、通学して実習した受講年月日及び実施時刻について記載すること。

※3：建設キャリアアップシステム（CCUS）技能者情報登録者の場合に○を記入してください。